

福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた 検討指示事項に対する工程表



2021年1月25日

東京電力ホールディングス株式会社

①：液状の放射性物質

No.①-1	タービン建屋ドライアップ	P1,2
	：建屋内滞留水のα核種除去方法の確立	
	：原子炉建屋内滞留水の可能な限りの移送・処理	
	① 原子炉建屋内滞留水の全量処理	
No.①-2	原子炉注水停止に向けた取り組み	P3
No.①-3	1・3号機S/C水位低下の先行的な取り組み	P4
	：原子炉建屋内等での汚染水の流れ等の状況把握 （その他のもの）	
No.①-4	プロセス主建屋等ドライアップ	P5
	② プロセス主建屋等ゼオライト等安定化策検討	
	プロセス主建屋等ゼオライト等の安全な状態での管理	
No.①-5	タンク内未処理水の処理	P6
	：Sr未処理水の処理（その他のもの）	
No.①-6	構内溜まり水等の除去（その他のもの）	P7
No.①-7	地下貯水槽の撤去（その他のもの）	P8

②：使用済燃料

No.②-1	1号機原子炉建屋カバー設置	P9
	：1号機原子炉建屋オペフロアプラグ処置、瓦礫撤去 （その他のもの）	
	：1・2号機燃料取り出し	
	：全号機使用済燃料プールからの燃料取り出し	
	：建物等からのダスト飛散対策	
No.②-2	2号機燃料取り出し遮へい設計等	P10
	③ 2号機原子炉建屋オペフロア遮へい・ダスト抑制	
	：1・2号機燃料取り出し	
	：全号機使用済燃料プールからの燃料取り出し	
	：建物等からのダスト飛散対策	
No.②-3	3号機燃料取り出し	P11
	④ 全号機使用済燃料プールからの燃料取り出し	
No.②-4	5又は6号機燃料取り出し開始	P12
	：全号機使用済燃料プールからの燃料取り出し	
No.②-5	使用済制御棒の取り出し（その他のもの）	P13
No.②-6	乾式貯蔵キャスク増設開始	P14
	：乾式貯蔵キャスク増設エリア拡張	

③：固形状の放射性物質

No.③-1	④ 増設焼却設備設置	P15
No.③-2	大型廃棄物保管庫（Cs吸着材入り吸着塔）設置	P16
No.③-3	ALPSスラリー（HIC）安定化処理設備設置	P17
No.③-4	減容処理設備・廃棄物保管庫（10棟）設置	P18
No.③-5	廃棄物のより安全・安定な状態での管理	P19
	：瓦礫等の屋外保管の解消	
No.③-6	汚染土一時保管施設の設置（その他のもの）	P20
No.⑤-7	⑤ 1号機の格納容器内部調査	P21
⑥	2号機燃料デブリ試験的取り出し・格納容器内部調査 性状把握	
	：格納容器内及び圧力容器内の直接的な状況把握 （その他のもの）	
No.③-8	分析施設本格稼働、分析体制確立	P22
	：分析第2棟等の燃料デブリ分析施設の設置	
	：放射性物質分析・研究施設（第1棟）の設置 （その他のもの）	
No.⑤-9	⑦ 燃料デブリ取り出しの安全対策	P23
No.③-10	取り出し燃料デブリの安定な状態での保管	P24

④：外部事象等への対応

No.④-1	建屋屋根修繕【雨水】	P25
	：建屋内雨水流入の抑制（3号機タービン建屋への流入抑制） （その他のもの）	
	：建屋内雨水流入の抑制 （1, 2号機廃棄物処理建屋への流入抑制）（その他のもの）	
No.④-2	1, 2号機排気筒の上部解体【耐震】	P26
No.④-3	建屋開口部閉塞等【津波】	P27
No.④-4	⑧ 除染装置スラッジの移送【津波】	P28
	⑨ 除染装置スラッジの安定化処理設備設置（その他のもの）	
No.④-5	⑨ 建屋周辺のフェーシング範囲の拡大【雨水】	P29
No.④-6	建物構築物・劣化対策・健全性維持	P30
No.④-7	建屋外壁の止水【地下水】	P31
No.④-8	メガフロートの対策（その他のもの）	P32
No.④-9	千島海溝津波防潮堤の設置（その他のもの）	P33

⑤：廃炉作業を進める上で重要なもの

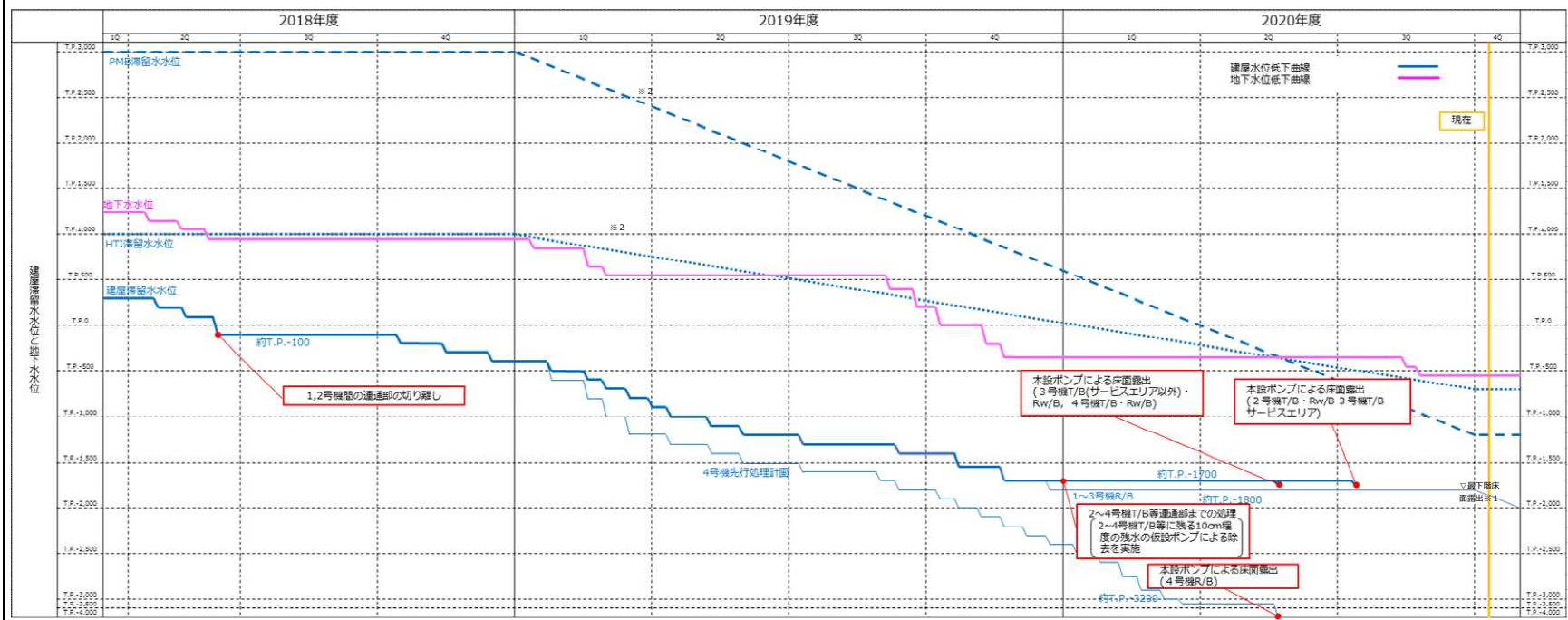
No.⑤-1	1, 2号機排気筒下部の高線量SGTS配管等の撤去	P34
No.⑤-2	多核種除去設備処理済水の海洋放出等	P35
No.⑤-3	原子炉建屋内等の汚染状況把握（核種分析等）	P36
	（その他のもの）	
No.⑤-4	原子炉冷却後の冷却水の性状把握（核種分析）	P37
	（その他のもの）	
No.⑤-5	排水路の水の放射性物質の濃度低下（その他のもの）	P38
No.⑤-6	建屋周辺瓦礫の撤去（その他のもの）	P39
No.⑤-7	T.P.2.5m盤の環境改善（その他のもの）	P40
No.⑤-8	⑩ 廃炉プロジェクト・品質管理体制の強化	P41
	：事業者による施設検査開始（長期保守管理）	
	：労働安全衛生環境の継続的改善	
	：高線量下での被ばく低減	

個別議題で説明

個別議題で説明

個別議題で説明

建屋滞留水処理工程



- ※ 1 循環注水を行っている1~3号機原子炉建屋，プロセス主建屋，高温焼却炉建屋以外の建屋の最下階床面露出。
- ※ 2 プロセス主建屋と高温焼却炉建屋は，大雨時の一時貯留として運用しているため，降雨による一時的な変動あり。

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																						
①-2	液状の放射性物質	・原子炉注水停止に向けた取り組み																						
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定																					
<p>・昨年度の注水停止試験も踏まえ、今年度の注水停止試験を以下のとおり実施することを計画。</p> <p>1号機：PCV水位が最下端の温度計(T1)を下回るかどうかを確認するために5日間の停止 2020年11月26日～12月1日に注水停止を実施。</p> <p>2号機：温度評価モデルの妥当性を検証するために3日間の停止 2020年8月17日～20日に注水停止を実施し、RPV底部温度は予測と同程度の上昇を確認。</p> <p>3号機：PCV水位がMSラインベローズ配管を下回らないことを確認するために7日間の停止</p>		<p>・注水停止に伴う安全機能（冷却、閉じ込め、臨界等）への影響を見極めながら試験する必要がある。</p>	<p>・3号機について試験実施時期と試験手順・体制を整え試験を実施する。</p>																					
工程表																								
分類	内容	2020年度									2021年度					2022年度	2023年度以降	備考						
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				3Q～4Q					
運用	原子炉注水の一時的な停止試験					1号機 注水停止：11/26～12/1																		3号機の試験時期は調整中。
	原子炉建屋滞留水水位低下 (半減に向けた水位低下)																							

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目							
①-3	液状の放射性物質 廃炉作業を進める上で重要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・1・3号機S/C水位低下の先行的な取り組み ・原子炉建屋内等での汚染水の流れ等の状況把握（その他のもの） 							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>検討課題</th> <th>今後の予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・サブプレッションチェンバ（S/C）の水位計測・制御を行う設備の設置に資する技術（S/C内へアクセスのためのガイドパイプ等）の開発を実施 ・原子炉格納容器（PCV）下部から原子炉建屋への汚染水漏れ箇所等の調査等を実施 <p>【1号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンドクッションドレンラインからの流水を確認 ・真空破壊ラインペローズからの漏えいを確認 <p>【2号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋地下階の気中部からの漏えいなし（サブプレッションチェンバ水没部からの漏えいの可能性） <p>【3号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋1階主蒸気配管ペローズからの漏えいを確認 ・S/C内包水のサンプリング実施(2020年7月～9月) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・PCV（S/C含む）内から直接取水のためのガイドパイプ等の技術を用いたS/C水位低下設備の設置については、干渉物撤去も含めた現地施工性、メンテナンス等の現場適応性の課題抽出・整理および成立性確認が必要（S/C水位低下設備による水位低下範囲を踏まえ、S/Cのベント管等PCV底部の止水を検討） ・未確認のPCV下部からの漏えい箇所の調査方法の検討（2号機サブプレッションチェンバ水没部の漏えい経路の特定等） </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>・調査方法の検討を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	検討課題	今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・サブプレッションチェンバ（S/C）の水位計測・制御を行う設備の設置に資する技術（S/C内へアクセスのためのガイドパイプ等）の開発を実施 ・原子炉格納容器（PCV）下部から原子炉建屋への汚染水漏れ箇所等の調査等を実施 <p>【1号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンドクッションドレンラインからの流水を確認 ・真空破壊ラインペローズからの漏えいを確認 <p>【2号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋地下階の気中部からの漏えいなし（サブプレッションチェンバ水没部からの漏えいの可能性） <p>【3号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋1階主蒸気配管ペローズからの漏えいを確認 ・S/C内包水のサンプリング実施(2020年7月～9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCV（S/C含む）内から直接取水のためのガイドパイプ等の技術を用いたS/C水位低下設備の設置については、干渉物撤去も含めた現地施工性、メンテナンス等の現場適応性の課題抽出・整理および成立性確認が必要（S/C水位低下設備による水位低下範囲を踏まえ、S/Cのベント管等PCV底部の止水を検討） ・未確認のPCV下部からの漏えい箇所の調査方法の検討（2号機サブプレッションチェンバ水没部の漏えい経路の特定等） 			・調査方法の検討を行う。
検討課題	今後の予定								
<ul style="list-style-type: none"> ・サブプレッションチェンバ（S/C）の水位計測・制御を行う設備の設置に資する技術（S/C内へアクセスのためのガイドパイプ等）の開発を実施 ・原子炉格納容器（PCV）下部から原子炉建屋への汚染水漏れ箇所等の調査等を実施 <p>【1号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンドクッションドレンラインからの流水を確認 ・真空破壊ラインペローズからの漏えいを確認 <p>【2号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋地下階の気中部からの漏えいなし（サブプレッションチェンバ水没部からの漏えいの可能性） <p>【3号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋1階主蒸気配管ペローズからの漏えいを確認 ・S/C内包水のサンプリング実施(2020年7月～9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCV（S/C含む）内から直接取水のためのガイドパイプ等の技術を用いたS/C水位低下設備の設置については、干渉物撤去も含めた現地施工性、メンテナンス等の現場適応性の課題抽出・整理および成立性確認が必要（S/C水位低下設備による水位低下範囲を踏まえ、S/Cのベント管等PCV底部の止水を検討） ・未確認のPCV下部からの漏えい箇所の調査方法の検討（2号機サブプレッションチェンバ水没部の漏えい経路の特定等） 								
		・調査方法の検討を行う。							

分類	内容	2020年度							2021年度							2022年度	2023年度以降	備考
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
設計・検討	PCV(S/Cを含む)内の水位計測・制御を行うシステム検討																	
	現場適応性の課題抽出・整理																	
	現場適応の成立性確認																	
PCV取水設備設置	許認可 実施計画																	
	現場作業 取水設備設置																	
運用	原子炉注水の一時的な停止試験																	3号機の試験時期は調整中。
	原子炉建屋滞留水水位低下（半減に向けた水位低下）																	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
①-4	液状の放射性物質 固体状の放射性物質	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセス主建屋等ドライアップ ・プロセス主建屋等ゼオライト等安定化策検討 ・プロセス主建屋等ゼオライト等の安全な状態での管理

現状の取り組み状況	検討課題	今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> ・プロセス主建屋（PMB），高温焼却炉建屋（HTI）については，地下階に確認された高線量のゼオライト土壌の線量緩和対策及びα核種の拡大防止対策を優先的に進める。 ・PMBのゼオライト土壌のサンプリングを実施し，分析を実施 ・現場調査，線量評価実施 ・対策の概念検討（遠隔回収，遠隔集積水中回収を主方針として検討中） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場調査において，プロセス主建屋およびHTI建屋ともに水中のゼオライト土壌近傍で数Sv/hの高線量となっており，作業被ばく抑制のため遠隔回収，遠隔集積等の対策が必要となるや，ダスト飛散防止，類似例の多さを考慮し，実現性が高いと考えられる水中回収を実施する方針で検討。 ・技術の信頼性が高いと考えられる水中回収工法であるが，PMB・HTIに特有な状況に留意して工法の検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ゼオライト線量緩和策】 →床面露出時に影響を緩和する対策 【ゼオライト安定化対策】 →ゼオライト等全量に対する安定化対策 基本設計を開始し，より具体的な検討に入る。

工程表																						
対策	分類	内容	2020年度						2021年度									2022年度	2023年度以降	備考		
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q					
ゼオライト線量緩和対策	設計・計画	ゼオライト線量緩和対策 設備設計																				新たな方針とするためスケジュールを変更
	許認可	実施計画																				新たな方針とするためスケジュールを変更
	現場作業	ゼオライト線量緩和対策 設備製作→設置																				新たな方針とするためスケジュールを変更
ゼオライト安定化対策	設計・計画	ゼオライト安定化対策 設備設計																				新たな方針とするためスケジュールを変更
ゼオライト土壌等の対策	設計・計画	ゼオライト土壌等対策 設備設計																				新たな方針とするためスケジュールを変更
	許認可	実施計画																				新たな方針とするためスケジュールを変更
	現場作業	ゼオライト土壌等対策 備制作・設置																				新たな方針とするためスケジュールを変更

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																
①-5	液状の放射性物質	<ul style="list-style-type: none"> ・タンク内未処理水の処理 ・Sr未処理水の処理（その他のもの） 																
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定															
<p>【Sr未処理水の処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年8月8日をもって再利用分の溶接型タンク内のSr処理水の処理を完了（ポンプインターロック値以下の残水約6,500m³は除く）。 		—	<p>【Sr未処理水の処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は日々発生するSr処理水を多核種除去設備にて処理していく。 <p>【濃縮廃液の処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃縮廃液貯槽(Dエリア)貯留分：海水成分濃度が高い放射性液体の最適な処理の方法について、国外の知見を踏まえた整理を2020年度に実施し、処理方針を決定する計画 ・濃縮廃液貯槽(H2エリア)貯留分：炭酸塩主体のスラリー状であるため、スラリー安定化処理設備による処理を検討（ALPSスラリーの処理完了後） 															
工程表																		
対策	分類	内容	2020年度									2021年度				2022年度	2023年度以降	備考
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			
未処理水の処理	現場作業	Sr未処理水の処理	再利用分の溶接型タンク内のSr処理水について処理を完了															
		濃縮廃液の処理	取り纏まり次第、提示															

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
①-6	液状の放射性物質	構内溜まり水等の除去（その他のもの）
現状の取り組み状況		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>・トレンチは、年1回、溜まり水の点検を実施</p> <p>・1号機海水配管トレンチは、水質の浄化について継続検討中</p> <p>・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト（陸側遮水壁の外側）は、2018年12月から溜まり水の除去及び内部の充填に着手し、2019年5月に完了</p> <p>・放水路は、溜まり水の濃度を監視中</p> <p>・1号機逆洗弁ピットは、屋根掛けを完了。2019年11月から溜まり水の除去に着手、2020年6月内部充填完了</p> <p>・2号機逆洗弁ピットは、2019年12月から溜まり水の除去に着手、2020年8月内部充填完了</p> <p>・3号機ピット内は、屋根を取り外し、2018年11月からヤード整備に着手し完了</p> <p>・4号機逆洗弁ピットは、2020年11月から内部充填工事に着手</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>・トレンチは、点検箇所の空間線量が高いなどの理由により、アクセスできない箇所がある。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>・トレンチの末点検箇所は、アクセス方法を見直す等により、計画的に点検予定</p> <p>・放水路は、排水ルートの変更と合わせて、対策を検討予定</p> <p>・その他については、溜まり水の濃度などリスクの優先順等の検討結果を踏まえ、順次対策を実施予定</p> </div> </div>

工程表

対策	分類	内容	2020年度										2021年度						2022年度	2023年度以降	備考				
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月 <small>現時点</small>	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q								
全般	現場作業	トレンチ点検	年1回、溜まり水の点検を実施																						
1号機海水配管トレンチ	現場作業	溜まり水の除去・内部充填	[Blue bar spanning from 1Q 2020 to 3Q 2021]																						2017年12月より充填作業実施中 溜まり水の水質による水処理設備への影響を踏まえ水移送・充填作業を一時中断、移送計画を再変更 ※水質の浄化について継続検討中
1号機逆洗弁ピット	現場作業	溜まり水の除去・内部充填	[Blue bar]																					2019年11月22日 溜まり水の除去開始 2020年6月 内部充填完了	
2号機逆洗弁ピット	現場作業	溜まり水の除去・内部充填	[Blue bar]																					2019年12月5日 溜まり水の除去開始 2020年8月27日 内部充填完了	
4号機逆洗弁ピット	現場作業	溜まり水の除去・内部充填				[Blue bar]																		2020年11月9日着手	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																		
①-7	液状の放射性物質	地下貯水槽の撤去（その他のもの）																		
現状の取り組み状況		検討課題										今後の予定								
<ul style="list-style-type: none"> ・漏えい後に、地下貯水槽内部の貯水と周辺の汚染土壌を回収した。 ・新たな汚染水の漏えいについては、地下貯水槽内部の水位を低く保っていること及び継続中の地下水モニタリング結果から、可能性は低いと評価している。 ・地下貯水槽内部の残水回収作業は、2018年9月26日に完了 ・解体・撤去の方針について検討中 		<ul style="list-style-type: none"> ・解体・撤去の実施にあたっては、大量の廃棄物が発生することから、廃棄物の減容・保管設備の整備計画と連携し、撤去時期を検討することが必要 										<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物設備の計画と連携しながら、撤去の方針およびスケジュール等を検討する。 								
工程表																				
対策	分類	内容	2020年度						2021年度								2022年度	2023年度以降	備考	
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				3Q~4Q
解体・撤去	設計・検討	撤去・解体工法の概念検討																		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
②-2	使用済燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・2号機燃料取り出し遮へい設計等 ・2号機原子炉建屋オベフロ遮へい・ダスト抑制 ・1・2号機燃料取り出し ・全号機使用済燃料プールからの燃料取り出し ・建物等からのダスト飛散対策
現状の取り組み状況		今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> ・構台設置ヤード整備のうち、ボイラ建屋解体を完了(2020年3月) ・使用済燃料プール内調査を完了(2020年6月) ・オペレーティングフロアの残置物片付け作業を実施中完了(2020年12月) ・ダスト対策の更なる信頼性向上や雨水の建屋流入抑制の観点等から、「原子炉建屋の上部解体を行わず、建屋南側から使用済燃料プールにアクセスする」工法を選択 ・オペレーティングフロアの除染・遮へい計画の検討 ・燃料取り出し用構台や燃料取扱設備等の設計 ・2020年12月25日 実施計画変更認可申請 ・オペレーティングフロアの残置物片付け作業完了に伴い、オベフロ調査に向けた準備作業を実施中 		検討課題 (1)燃料取り出し用構台の計画立案 (2)オペレーティングフロアの除染・遮へいの計画立案 (3)燃料取扱設備等の計画立案
		<ul style="list-style-type: none"> ・中長期ロードマップの目標である2024年度～2026年度からの燃料取り出し開始に向けて設計・検討を進めていく。

工程表

対策	分類	内容	2020年度										2021年度							2022年度	2023年度以降	備考			
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q～4Q								
オペレーティングフロア内作業	現場作業	残置物片付け・調査	[Progress bar from 1Q to 3Q]																			残置物片付け作業後に線量調査を実施予定 残置物片付け作業12月完了 線量調査準備作業を12月7日着手			
		除染・遮へい																				[Progress bar from 4Q to 2023]			
燃料取り出し用構台設置	許認可	実施計画																						2020年12月25日 実施計画変更認可申請	
	設計・検討	燃料取り出し用構台の設計	[Progress bar from 1Q to 3Q]																						
	現場作業	構台設置ヤード整備 地盤改良準備作業 地盤改良	[Progress bar from 1Q to 3Q]																						
燃料取り出し用構台設置																							[Progress bar from 4Q to 2023]		
燃料取扱設備等設置	許認可	実施計画																						2020年12月25日 実施計画変更認可申請	
	設計・検討	燃料取扱設備等の設計	[Progress bar from 1Q to 3Q]																					[Progress bar from 4Q to 2023]	
	現場作業	燃料取扱設備等設置																						[Progress bar from 4Q to 2023]	
燃料取り出し	現場作業	燃料取り出し																						[Progress bar from 4Q to 2023]	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
②-3	使用済燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・3号機燃料取り出し ・全号機使用済燃料プールからの燃料取り出し
現状の取り組み状況		検討課題
<ul style="list-style-type: none"> ・変形・破損した燃料取り出し及び輸送・保管に係わる検討 ・プール内ガレキ撤去，3号機から共用プールへのプール燃料取り出し ・2019年4月15日～燃料取り出し開始。 ・2020年3月30日より燃料取扱設備の点検を実施し，5月26日より燃料取り出し再開 ・510体/566体の取り出し完了（2021年1月22日夕時点） 		<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔操作の技術力向上 ・変形・破損した燃料取り出し及び輸送・保管に係わる計画の立案
		今後の予定
		<ul style="list-style-type: none"> ・プール内ガレキ撤去作業を進めていく。 ・3号機から共用プールへのプール燃料取り出しを継続 ・2020年度内の燃料取り出し完了を目指す。

工程表

分類	内容	2020年度							2021年度							2022年度	2023年度以降	備考
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月 現時点	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
設計・検討	損傷・変形燃料の取り出し及び輸送・保管に係わる計画	■																
許認可	破損燃料用輸送容器		■	■														2019年8月20日 実施計画変更認可申請 2020年10月1日 実施計画変更認可
	共用プール 破損燃料ラック	■																2019年7月11日 実施計画変更認可申請 2020年4月7日 実施計画変更認可
	共用プール 使用済燃料収納缶（大） の取扱い			■	■	■												2020年9月29日 実施計画変更認可申請
	破損燃料取り出し			■	■	■												2020年9月29日 実施計画変更認可申請
現場作業	破損燃料用ラック設置	■																2020年5月26日 破損燃料用ラック設置完了
運用	プール内瓦礫撤去																	燃料取り出し再開後は間欠的に実施 作業進捗を踏まえ見直し
	燃料取り出し実機訓練	■																2020年5月23日 体制強化のための訓練完了
	燃料取り出し																	燃料取り出し作業の完了時期は，作業員の習熟度や変形燃料の体数等により変動する。 9月2日にマストケーブル損傷により燃料取り出し中断。マストケーブル交換等の復旧作業を終了し、10月8日から燃料取り出し再開。 11月18日発生のクレーン主巻の停止に伴い燃料取り出し中断。12月20日取り出し再開。

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目													
②-5	使用済燃料	・使用済制御棒の取り出し（その他のもの）													
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定												
・万一のSFP漏えい発生時に備えた注水手段は確立済		<ul style="list-style-type: none"> ・SFP廃止措置の全体方針，計画の策定 ・対象物の取り出し方法，移送方法の検討 ・搬出先の確保 ・保管方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・SFP内の使用済制御棒等は，高汚染・高線量物として保管することになると想定される。このため，安全対策や保管先の確保等の計画が必要になる。 ・一方，取り出し時期は，1F廃炉全体の状況を踏まえた優先度に基づき，決定する必要がある。 												
工程表															
対策	分類	内容	2020年度					2021年度					2022年度	2023年度以降	備考
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
取り纏まり次第，提示															

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

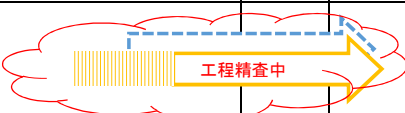
No.	分類	項目
②-6	使用済燃料	<ul style="list-style-type: none"> 乾式貯蔵キャスク増設開始 乾式貯蔵キャスク増設エリア拡張
現状の取り組み状況		検討課題
<ul style="list-style-type: none"> 乾式キャスクの製造及び使用前検査実施中 乾式キャスク仮保管設備の増設実現性について検討中 		<ul style="list-style-type: none"> 乾式キャスク仮保管設備の増設の計画立案
		今後の予定
		<ul style="list-style-type: none"> 2021年度末頃からの乾式貯蔵キャスクの納入開始を計画 2022年中の乾式キャスク仮保管設備の増設工事の開始を計画

工程表																				
対策	分類	内容	2020年度						2021年度								2022年度	2023年度以降	備考	
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				3Q~4Q
乾式キャスクの増設, 仮保管設備の増設	許認可	実施計画																	2020年4月16日 実施計画変更認可申請 2020年9月29日 実施計画変更認可	
乾式キャスク増設	現場作業	乾式キャスクの製造	→																	
		乾式キャスクの設置 (共用プールからの燃料取り出し)																		→
乾式キャスク仮保管設備の増設	設計・検討	乾式キャスク仮保管設備の増設検討及び設計	→																	
	許認可	実施計画																	→	設計進捗に伴う申請時期の見直し
	現場作業	乾式キャスク仮保管設備の増設工事																	→	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																		
③-1	固形状の放射性物質	・増設焼却設備設置																		
現状の取り組み状況		検討課題												今後の予定						
・2018年4月19日実施計画変更認可 ・設置工事を実施中		—												・2020年度に竣工,運転開始予定						
工程表																				
分類	内容	2020年度						2021年度									2022年度	2023年度以降	備考	
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q				
現場作業	設置工事	[Blue bar]																		
運用	試運転						コールド試験	ホット試験	工程調整中											・ロータリーキルンの摺動部に想定より多い摩耗が確認されたため、コールド焼却試験の開始時期を調整中。 ・工程は、原因調査結果を踏まえて検討中。
	本格運用 (焼却処理)								[Blue arrow]											

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																	
③-2	固形状の放射性物質	・大型廃棄物保管庫（Cs吸着材入り吸着塔）設置																	
現状の取り組み状況		検討課題											今後の予定						
<ul style="list-style-type: none"> ・2018年11月30日 実施計画変更認可申請 ・2019年6月3日～2020年5月20日 準備作業（地盤改良等） ・2020年5月27日 実施計画変更認可 ・2020年6月1日～ 建屋設置工事 ・2020年7月22日 実施計画変更認可申請（揚重設備、架台設置） 		-											・2021年度に建屋竣工予定						
工程表																			
分類	内容	2020年度							2021年度							2022年度	2023年度以降	備考	
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				3Q～4Q
許認可	実施計画 建屋設置（換気、電気・ 計装含む）	■					現時点												2018年11月30日 実施計画変更認可申請 2020年5月27日 実施計画変更認可
	実施計画（揚重設備、架 台設置）		■																2020年7月22日 実施計画変更認可申請
現場作業	設置工事	■														2020年6月1日～ 着工			
運用	吸着塔類の移動																		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
③-3	固形状の放射性物質	・ALPSスラリー（HIC）安定化処理設備設置
現状の取り組み状況		今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に概念設計を実施 ・2018年度は構内での設置可能場所の選定，脱水物を収納する容器の検討を行い，処理設備の基本設計を実施 →現在，基本設計を検討中 ・第73回検討会にて，設置までのスケジュール（案）を提示 ・2021年1月7日 実施計画変更認可申請 		<ul style="list-style-type: none"> →スラリー脱水物保管容器，線量影響の軽減及び処理設備の基本仕様等の具体的設計検討 ・HICからスラリーの抜出，脱水物の充填・搬出，メンテナンス時等，設備運用時の安全性確保。 →建屋構造，運用動線が成立する具体的機器配置設計検討
		<ul style="list-style-type: none"> →2020年度に実施計画変更認可申請を予定 ・2022年度に運用開始予定 <p>【参考情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> →ストロンチウム処理水処理が完了する2020年8月以降は，HIC発生速度が半数以下になると想定され，HICの保管容量は逼迫しない見込み。

工程表																			
分類	内容	2020年度						2021年度									2022年度	2023年度以降	備考
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q			
設計・検討	配置設計・建屋設計	[Bar chart showing design work from 1Q 2020 to 12月 2020]																	
許認可	実施計画						[Bar chart showing implementation plan from 1月 2021 to 9月 2021]											2021年1月7日 実施計画変更認可申請	
製作・現場作業	建屋設置																	[Bar chart showing construction from 3Q 2021 to 2022]	設備の設計進捗に伴う変更
	スラリー安定化処理設備（フィルタープレス機他）製作・設置																	[Bar chart showing equipment installation from 4月 2021 to 2022]	
運用	スラリー安定化処理																	[Bar chart showing operation from 2022 onwards]	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
③-4	固形状の放射性物質	・減容処理設備・廃棄物保管庫（10棟）設置
現状の取り組み状況		検討課題 今後の予定
【減容処理設備】 ・2019年12月2日 実施計画変更認可申請 【固体廃棄物貯蔵庫第10棟】 ・詳細設計を実施中 ・汚染土一時保管施設と統合し設置する計画へ変更		【減容処理設備】 ・2022年度に竣工予定 【固体廃棄物貯蔵庫第10棟】 ・2022年度に竣工予定の減容処理設備の運用開始に合わせて、運用開始できるよう検討等を進める。

対策	分類	内容	2020年度					2021年度								2022年度	2023年度以降	備考	
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				9月
減容処理設備設置	許認可	実施計画	[Blue bar]																2019年12月2日 変更認可申請
	現場作業	設置工事																	地盤整地等の準備作業実施中 2022年度竣工予定
	運用	減容処理																	⇒ 竣工後、速やかに実施
固体廃棄物貯蔵庫第10棟設置	設計・検討	設置の検討・計画	[Blue dashed bar]					[Yellow solid bar]										設計の進捗に伴う見直し	
	許認可	実施計画																	設計の進捗に伴う見直し
	現場作業	設置工事																	設計の進捗に伴う見直し
	運用	廃棄物受入																	⇒ 2022年度に運用開始予定

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

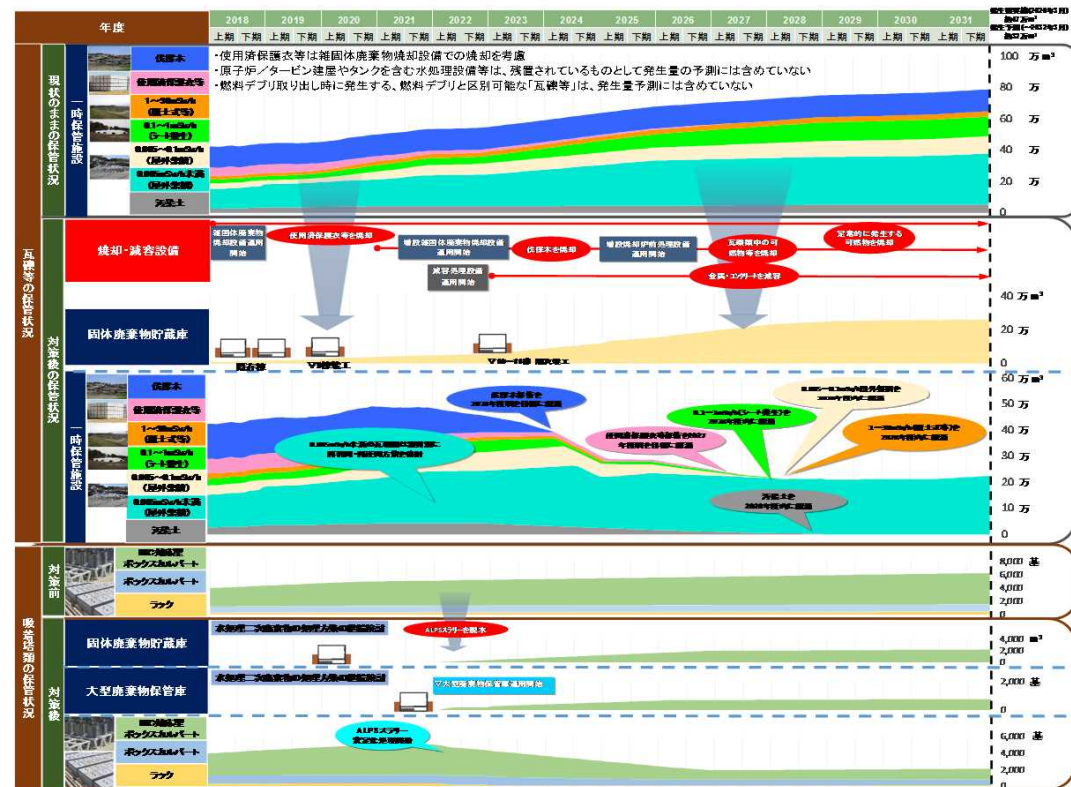
No.	分類	項目
③-5	固形状の放射性物質	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物のより安全・安定な状態での管理 ・瓦礫等の屋外保管の解消

現状の取り組み状況	検討課題	今後の予定
・2016年3月「東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所の固体廃棄物の保管管理計画」の策定（2020年7月 第4回改訂）	-	・当面10年程度に発生する固体廃棄物物量予測を年1回見直し、適宜保管管理計画を更新する。

工程表

保管管理計画に基づき2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除くすべての固体廃棄物の屋外保管を解消する。

福島第一原子力発電所の固体廃棄物の保管管理計画イメージ



赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目	
③-6	固形状の放射性物質	・汚染土一時保管施設の設置（その他のもの）	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
・固体廃棄物貯蔵庫第10棟と統合し、設計を実施中		—	・今後は固体廃棄物貯蔵庫第10棟（③-4）に工程を記載し、進捗管理を行う
工程表			
本施設は固体廃棄物貯蔵庫第10棟と統合するため、固体廃棄物貯蔵庫第10棟（③-4）の工程を参照			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目				
③-7	固形状の放射性物質 廃炉作業を進める上で重要なもの	<ul style="list-style-type: none"> 1号機の格納容器内部調査 2号機燃料デブリ試験的取り出し・格納容器内部調査・性状把握 格納容器内及び圧力容器内の直接的な状況把握（その他のもの） 				
現状の取り組み状況		<table border="1"> <thead> <tr> <th>検討課題</th> <th>今後の予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ○原子炉格納容器（PCV）内部調査 ・遠隔調査装置を開発し、PCV内部調査を進めている。至近の調査状況は下記の通り。 【1号機】 ・走行型調査装置が1階グレーチング上から装置先端部を吊り下ろすことで、ベデスタル外側地下階の映像・線量率を取得（2017年3月） 【2号機】 ・テレスコピック式調査装置の先端をベデスタル内グレーチング脱落部まで到達させた後に装置先端部を吊り下ろすことで、ベデスタル内の映像・線量率データを取得（2018年1月） ・装置先端にフィンガ構造を有した調査装置を用いて、ベデスタル内の堆積物の状態を確認（2019年2月） 【3号機】 ・水中ROVにてベデスタル内の映像を取得（2017年7月） ○原子炉圧力容器（RPV）内部調査 ・オペフロ上側からアクセスする「上部穴開け調査工法」、原子炉建屋外側からアクセスする「側面穴開け調査工法」について、アクセス装置の開発、調査方式の開発を実施 </td> <td> ○原子炉格納容器（PCV）内部調査及び試験的取り出し作業 ・開発した取り出し・調査装置によるPCV内部調査及び試験的取り出し作業を計画 ○原子炉圧力容器（RPV）内部調査 ・調査装置、調査システムの開発及び実機での調査方法の検討 </td> </tr> </tbody> </table>	検討課題	今後の予定	○原子炉格納容器（PCV）内部調査 ・遠隔調査装置を開発し、PCV内部調査を進めている。至近の調査状況は下記の通り。 【1号機】 ・走行型調査装置が1階グレーチング上から装置先端部を吊り下ろすことで、ベデスタル外側地下階の映像・線量率を取得（2017年3月） 【2号機】 ・テレスコピック式調査装置の先端をベデスタル内グレーチング脱落部まで到達させた後に装置先端部を吊り下ろすことで、ベデスタル内の映像・線量率データを取得（2018年1月） ・装置先端にフィンガ構造を有した調査装置を用いて、ベデスタル内の堆積物の状態を確認（2019年2月） 【3号機】 ・水中ROVにてベデスタル内の映像を取得（2017年7月） ○原子炉圧力容器（RPV）内部調査 ・オペフロ上側からアクセスする「上部穴開け調査工法」、原子炉建屋外側からアクセスする「側面穴開け調査工法」について、アクセス装置の開発、調査方式の開発を実施	○原子炉格納容器（PCV）内部調査及び試験的取り出し作業 ・開発した取り出し・調査装置によるPCV内部調査及び試験的取り出し作業を計画 ○原子炉圧力容器（RPV）内部調査 ・調査装置、調査システムの開発及び実機での調査方法の検討
検討課題	今後の予定					
○原子炉格納容器（PCV）内部調査 ・遠隔調査装置を開発し、PCV内部調査を進めている。至近の調査状況は下記の通り。 【1号機】 ・走行型調査装置が1階グレーチング上から装置先端部を吊り下ろすことで、ベデスタル外側地下階の映像・線量率を取得（2017年3月） 【2号機】 ・テレスコピック式調査装置の先端をベデスタル内グレーチング脱落部まで到達させた後に装置先端部を吊り下ろすことで、ベデスタル内の映像・線量率データを取得（2018年1月） ・装置先端にフィンガ構造を有した調査装置を用いて、ベデスタル内の堆積物の状態を確認（2019年2月） 【3号機】 ・水中ROVにてベデスタル内の映像を取得（2017年7月） ○原子炉圧力容器（RPV）内部調査 ・オペフロ上側からアクセスする「上部穴開け調査工法」、原子炉建屋外側からアクセスする「側面穴開け調査工法」について、アクセス装置の開発、調査方式の開発を実施	○原子炉格納容器（PCV）内部調査及び試験的取り出し作業 ・開発した取り出し・調査装置によるPCV内部調査及び試験的取り出し作業を計画 ○原子炉圧力容器（RPV）内部調査 ・調査装置、調査システムの開発及び実機での調査方法の検討					

工程表

対策	分類	内容	2020年度												2021年度				2022年度	2023年度以降	備考
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q				
⑤	現場作業	1号機PCV内部調査 PCV内部調査に向けた準備工事	[準備工事]												[調査]						※1
		PCV内部調査	[調査]												[準備]						※1
⑥	許認可	2号機PCV内部調査及び試験的取り出し作業	[許認可]												[調査]						2018年7月25日 実施計画変更認可申請 ※2
	現場作業	2号機PCV内部調査及び試験的取り出し作業 PCV内部調査に向けた準備工事	[準備工事]												[調査]						※2
		PCV内部調査及び試験的取り出し作業	[調査]												[準備]						※2
		性状把握	[性状把握]												[調査]						※2

※1：安全最優先で慎重に作業を進めるため、今後のアクセスルート構築時のダスト濃度変化等によっては、時期が前後する可能性がある。

※2：1号機アクセスルート構築時のダスト濃度変化を踏まえて、2号機においてもダスト低減対策を検討中。ダスト低減対策や今後のアクセスルート構築時のダスト濃度変化等によっては、時期が前後する可能性がある。

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
③-8	固形状の放射性物質	<ul style="list-style-type: none"> 分析施設本格稼働，分析体制確立 分析第2棟等の燃料デブリ分析施設の設定 放射性物質分析・研究施設（第1棟）の設置（その他のもの）
現状の取り組み状況		<p>【放射性物質分析・研究施設（第1棟）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2017年3月7日実施計画変更認可 設置工事を実施中 <p>【放射性物質分析・研究施設（第2棟）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年5月20日実施計画変更申請
検討課題		<p>【放射性物質分析・研究施設（第2棟）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合理的な運用となるよう，既存分析施設での分析経験を第2棟の分析方法等に反映 燃料デブリ分析を安全に実施するための対策及び保安管理
今後の予定		<p>【放射性物質分析・研究施設（第1棟）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年6月頃に運用開始予定 <p>【放射性物質分析・研究施設（第2棟）】</p> <ul style="list-style-type: none"> JAEA，東電で連携し，合理的な施設運用が可能になるよう，引き続き対応 2021年内に燃料デブリ取り出しが開始された後は，まずは既存分析施設で分析に着手 中長期的な燃料デブリ分析能力の確保の観点から整備する第2棟は，2024年を目途に運用を開始する予定

		工程表																							
対策	分類	内容	2020年度						2021年度									2022年度	2023年度以降	備考					
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月 現時点	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q								
放射性物質分析・研究施設（第1棟）	現場作業	設置工事	[Blue bar]																						
	運用	瓦礫等・水処理二次廃棄物の分析																							
放射性物質分析・研究施設（第2棟）	設計・検討	詳細設計	[Blue bar]																						
	許認可	実施計画		[Yellow bar]																				2020年5月20日 実施計画変更認可申請 認可希望時期の変更	
	現場作業	準備工事																							
		設置工事																							

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
③-10	固形状の放射性物質	・取り出し燃料デブリの安定な状態での保管
現状の取り組み状況		検討課題
<ul style="list-style-type: none"> ・燃料デブリを保管するための施設を準備するまでの短期間、取り出し初期の燃料デブリを安全に保管するための一時的な保管設備を準備することとし、その概念検討を2018年度に実施 ・一時保管設備は、保管方法を乾式と設定し、既設建屋を活用して保管できるよう候補地を選定中 ・2019年度から一時保管設備の基本設計に着手し、設備の具体化を検討中 		<ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質の閉じ込め、未臨界等に配慮した取扱いを安全に実施するための具体的な設備の検討 ・燃料デブリを安全かつ合理的に収納・保管することができる専用の収納缶の検討
今後の予定		
<ul style="list-style-type: none"> ・段階的な取り出し規模の拡大に向けた一時保管設備の検討 		

		工程表																		2022年度	2023年度以降	備考
分類	内容	2020年度						2021年度									2022年度	2023年度以降				
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q						
設計・検討	設計検討																					
	燃料デブリ一時保管設備																					
現場作業	燃料デブリ一時保管設備設置																					

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
④-1	外部事象等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建屋屋根修繕【雨水】 ・ 建屋内雨水流入の抑制（3号機タービン建屋への流入抑制）（その他のもの） ・ 建屋内雨水流入の抑制（1, 2号機廃棄物処理建屋への流入抑制）（その他のもの）
現状の取り組み状況		今後の予定
<p>【1, 2号機廃棄物処理建屋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年2月より1・2号機廃棄物処理建屋雨水対策(A工区 (600m²))着手し、11月に完了 <p>【その他の建屋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年3月, FSTR建屋雨水対策工事完了 ・ 2019年10月, 2号機タービン建屋下屋雨水対策完了 ・ 2020年3月, 2号機原子炉建屋下屋雨水対策完了 ・ 2020年3月, 3号機廃棄物処理建屋雨水対策完了 <p>【3号タービン建屋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年11月19日からヤード整備に着手し完了 ・ ガレキ撤去作業、開口部シート掛け、浄化装置設置、防水塗装完了 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2号機廃棄物処理建屋雨水対策工事は、A工区(約600m²)を2020年度下期に完了し、B, C工区分(約1500m²)を2号機側SGTS配管撤去後に実施予定(工程は検討中)

工程表																						
対策箇所	分類	内容	2020年度							2021年度							2022年度	2023年度以降	備考			
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				3Q~4Q		
1・2号機廃棄物処理建屋	現場作業	瓦礫撤去 A工区(600m ²)																	 <p>工区割図</p> <p>1・2号機廃棄物処理建屋作業工区割図</p>	<p>2020年2月より1・2号機廃棄物処理建屋雨水対策(A工区)着手し、11月25日ガレキ撤去完了 8月5日に排水ルート切り替え完了</p>		
		SGTS配管撤去	1/2号機排気筒下部の高線量SGTS配管等の撤去工程は検討指示事項No.⑤-1を参照																			
		瓦礫撤去 B, C工区(1,500m ²)	工程検討中																			2号機側SGTS配管撤去後、B, C工区(約1500m ²)の瓦礫撤去を実施予定 B工区(2号機Rw/B側)については、9月29日に排水ルート切り替え完了
3号機タービン建屋	現場作業	瓦礫撤去																	瓦礫撤去完了			
		流入防止堰設置、開口部シート掛け・雨樋設置																	2020年5月18日 着工 開口部シート掛け 8月7日完了			
		屋上簡易防水・雨水浄化装置設置																	2020年7月3日 防水塗装試験実施 雨水浄化装置設置完了 防水塗装完了			
1号機原子炉建屋	現場作業	1号原子炉建屋大型力バー設置	1号機原子炉建屋力バー設置工程は検討指示事項No.②-1を参照																			

No.	分類	項目	
④-2	外部事象等への対応	・ 1, 2号機排気筒の上部解体【耐震】	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 排気筒解体工事着手（2019年8月1日） ・ 2020年4月29日解体完了 ・ 2020年5月1日頂部蓋設置完了 		—	
工程表			
2020年4月29日解体完了、5月1日頂部蓋設置完了			

No.	分類	項目																		
④-4	外部事象等への対応 固形状の放射性物質	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置スラッジの移送【津波】 除染装置スラッジの安定化処理設備設置（その他のもの） 																		
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定																	
<ul style="list-style-type: none"> 遠隔操作アーム、吸引装置を用いてスラッジを抜き出す方法を検討中 プロセス主建屋1階の除染作業を実施中 スラッジ抜出しの過程における脱水を計画 （“安定化処理”を別個に計画する必要があるかを今後判断） 		<ul style="list-style-type: none"> 抜き出し装置を設置するプロセス主建屋1階が高線量であることから除染の検討 高線量スラッジを取り扱うことから遮へい、漏えい対策等の安全対策の検討 抜き出し時にスラッジをどこまで脱水できるかについて検討 スラッジの脱水性の評価と脱水設備の設計具体化 	<ul style="list-style-type: none"> 抜き出し装置の更なる具体化、安全対策を含めた詳細設計を実施し、スラッジを高台へ移送開始する。（2023年度 高台への移送を完了予定） スラッジ抜出しに関する実施計画変更申請への反映に向けて検討を進める。 																	
工程表																				
対策	分類	内容	2020年度					2021年度									2022年度	2023年度 以降	備考	
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月 <small>現時点</small>	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				3Q~4Q
除染装置スラッジの移送	設計・検討	詳細設計検討	[Blue bar spanning from 1Q 2020 to 3Q 2021]																	設計の進捗を踏まえ、工程精査中
	許認可	実施計画	[Blue bar spanning from 1Q 2020 to 2Q 2021]																	2019年12月24日 実施計画変更認可申請
	製作・現場作業	除染装置フラッシング、床面除染、遮へい設置等	[Dashed blue bar spanning from 1Q 2020 to 3Q 2021]																	工程検討に伴う実施期間変更
		抜き出し装置製作・設置	[Yellow bar spanning from 1Q 2020 to 3Q 2021]																	設計の進捗を踏まえ、工程精査中
安定化処理設備設置	取り纏まり次第、提示																			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																		
④-6	外部事象等への対応	・建物構築物・劣化対策・健全性維持																		
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定																	
<ul style="list-style-type: none"> ・1~4号機原子炉建屋は、損傷状況を考慮した建物モデルを用いた地震応答解析により倒壊に至らないことを確認済 ・原子炉建屋については、線量環境に応じた調査を実施しており、4号機については定期的に建屋内部に入り目視等で躯体状況を確認している。 ・1~3号機については、高線量エリアであるため調査範囲が限定されており、建屋内外の画像等から調査出来る範囲の躯体状況を確認している。 ・耐震安全性評価の保守的な評価モデルに対し、評価結果に変更が生じる事象が無いかを確認していく。 ・3号機原子炉建屋の地震観測試験を開始（2020年4月） 		<ul style="list-style-type: none"> ・高線量エリアにおける無人による調査方法を検討 ・劣化状況を適切に評価が出来るような耐震評価モデルの検討 ・建屋全体の劣化傾向を確認するための評価方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料デブリの取り出し検討状況等を踏まえ、適切な時期に解決可能なよう、検討を進める。 																	
工程表																				
分類	内容	2020年度									2021年度							2022年度	2023年度以降	備考
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q				
検討	躯体状況確認・調査方法の検討						1月				2020年度の検討を踏まえ設定									

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																			
④-7	外部事象等への対応	・建屋外壁の止水【地下水】																			
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定																		
・サブドレン及び陸側遮水壁に加えて、建屋屋根の補修・陸側遮水壁内のフェーシングにより雨水・地下水の建屋への流入抑制対策を継続的に実施している。		・汲み上げ井戸、水質、ポンプや冷凍機などの管理が不要な、監視のみとなる止水工法を選定する。 ・実現可能な施工方法の検討 ・被ばく防止手法	・関係者及び有識者のヒアリング及び検討体制の構築																		
工程表																					
対策	分類	内容	2020年度									2021年度							2022年度	2023年度以降	備考
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q				
取り纏まり次第, 提示																					

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																		
④-8	外部事象等への対応	・メガフロートの対策（その他のもの）																		
現状の取り組み状況		検討課題												今後の予定						
<ul style="list-style-type: none"> ・5, 6号機滞留水を一時貯留したメガフロートについて、滞留水を処理した上で、ろ過水をバラスト水として貯留し港湾内に係留 ・早期リスク低減の観点（津波による周辺設備の損傷防止）から、港湾内で着底させ、護岸及び物揚場として再活用する。 ・着底マウンド造成作業・1~4号取水路開渠内への移動・バラスト水処理作業・内部除染作業が2020年2月までに完了 ・仮着底作業が2020年3月4日に完了 ・内部充填作業が2020年8月3日に完了 ・護岸ブロック据付作業を2020年9月30日から開始 		-												<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度内に護岸工事等が完了させ、その後有効利用開始する予定。 						
工程表																				
分類	内容	2020年度						2021年度										2022年度	2023年度以降	備考
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q				
現場作業	着底・内部充填	2020年8月3日 津波リスク低減の完了																		
	護岸工事・盛土工事																			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目														
④-9	外部事象等への対応	・千島海溝津波防潮堤の設置（その他のもの）														
現状の取り組み状況		検討課題										今後の予定				
・切迫性が高い千島海溝津波に対して、2020年度上期完了を目標に、アウトラーズ津波防潮堤を北側に延長する工事を実施し、2020年9月25日にL型擁壁等の設置完了 ・内閣府「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」の公表内容を踏まえ、防潮堤設置計画を検討中		-														
分類	内容	2020年度						2021年度						2022年度	2023年度以降	備考
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			
現場作業	防潮堤設置工事	2020年9月25日 防潮堤設置完了														

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
⑤-1	廃炉作業を進める上で重要なもの	・ 1, 2号機排気筒下部の高線量SGTS配管等の撤去
現状の取り組み状況		検討課題
・ 2020年2月12日 1, 2号機排気筒下部周辺のSGTS配管線量測定を実施 ・ 2020年4月～9月 1, 2号機排気筒とSGTS配管接続部の内部調査及びSGTS配管上部の線量測定を実施		・ 現場調査結果を踏まえたSGTS配管撤去工法の検討 ・ SGTS配管の撤去工法の検討を進めていく。
今後の予定		

工程表

分類	内容	2020年度							2021年度							2022年度	2023年度以降	備考	
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月 現時点	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				3Q～4Q
設計・検討	現場調査・撤去工法検討・モックアップ	[Yellow bar from 1Q to 2月]																	4月6日より内部調査を開始 汚染分布状況の把握のための追加調査を行い、 調査結果を工法検討へ反映する。 検討状況の見直しに伴う変更
許認可	実施計画							[Yellow bar from 2月 to 6月]											工法検討を基に、2021年2月中旬頃に実施計画申請予定
現場作業	高線量SGTS配管撤去																		2021年度までに撤去完了予定。

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																		
⑤-2	廃炉作業を進める上で重要なもの	・多核種除去設備処理済水の海洋放出等																		
現状の取り組み状況		検討課題										今後の予定								
<p>・フランジ型タンク内Sr処理水のALPS処理, 建屋滞留水処理に必要なALPS処理水タンク容量として, 設置済の未使用分を含めて2020年中までに約148万m3を確保する予定。</p> <p>・多核種除去設備等で浄化処理した水の取り扱いについては, 2020年2月10日に国の小委員会の報告を受けた処理水の処分方法(海洋放出,水蒸気放出)に係わる技術的な検討素案を提示。</p>		-										<p>・多核種除去設備処理水の扱いについては,国の小委員会の低減を踏まえ,国が幅広い関係者のご意見を伺っているところ。それらを踏まえ国からは風評対策も含め基本的な方針が示されるものと認識しており,当社は,それを踏まえ,丁寧なプロセスを踏みながら適切に対応し,設備の設計検討等を進める予定。</p> <p>・それまでは,貯留している処理水を引き続き,しっかり,安全に管理していくとともに,処理水の性状等の情報を国内外に透明性高く,適時適切に発信していく。</p>								
工程表																				
対策	分類	内容	2020年度									2021年度						2022年度	2023年度以降	備考
			1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q			
取り纏まり次第,提示																				

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																				
⑤-7	廃炉作業を進める上で重要なもの	・ T.P.2.5m盤の環境改善（その他のもの）																				
現状の取り組み状況		検討課題												今後の予定								
<p>・ 護岸部の地盤改良（水ガラス）及び海側遮水壁により海域への漏えいを防止するとともに、2.5m盤のフェーシングにより雨水の浸透を抑制している。また、ウエルポイントにより地下水をくみ上げ、濃度を監視している。</p>		<p>・ 対策（土壌の回収・洗浄、地下水の浄化）の方針及び廃棄物の処理方法の検討が必要</p>												<p>・ 2019年度に8.5m盤フェーシングが完了したことから、雨水の流入がこれまでよりも減少することが想定される。これにより、地下水の流れに変化が生じる可能性があることから、2020年度は環境変化後のモニタリングを継続する。その後、2020年度のモニタリング結果を踏まえ、汚染範囲の特定と今後の推移予測を行う。</p>								
工程表																						
分類	内容	2020年度						2021年度									2022年度	2023年度以降	備考			
		1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q~4Q						
現場作業	モニタリング																					2021年度以降もモニタリング継続
設計・検討	汚染範囲の特定・今後の予測																					

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目	
⑤-8	廃炉作業を進める上で重要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃炉プロジェクト・品質管理体制の強化 ・ 事業者による施設定期検査開始（長期保守管理） ・ 労働安全衛生環境の継続的改善 ・ 高線量下での被ばく低減 	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
<p>継続的な取り組みを実施。</p>			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。